

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人

『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

国際エネルギー機関（IEA）は年次報告書で、「世界的なエネルギー危機は、よりグリーンで、より確実な未来に向けた歴史的なターニングポイントになり得る」と強調し、原子力についても「今後、既存炉の運転期間延長の決定と新規建設プログラムの成功が鍵を握る」として「2050年までに原子力発電設備容量が2倍以上に増加する」と予想しています。

こうした中、米国、欧州を中心に小型モジュール炉（SMR）の研究開発が進んでいますが、現行の炉型とは異なるため、許認可に係る問題も多く、また新たなサプライチェーンの構築が必要になるなどの課題も挙げられます。

次世代炉や高速炉に関する国際会議“ICAPP 2025” International Congress on Advances in Nuclear Power Plants が9月17日（水）～19日（木） Antibes, Franceにおいて開催されます。

米国・日本・韓国・フランスの原子力学会（ANS、AESJ、KNS、SFEN）が共同で主催しております。

本会議出席と合わせて、会場でスピーカーや関係者とのMeetingの場を設けたいと存じます。また、“ICAPP 2025”出席に先駆けてチェコのSMRの状況を調査したいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。 敬具

尚、お申し込み締切は**2025年7月31日（木）まで**と致します。

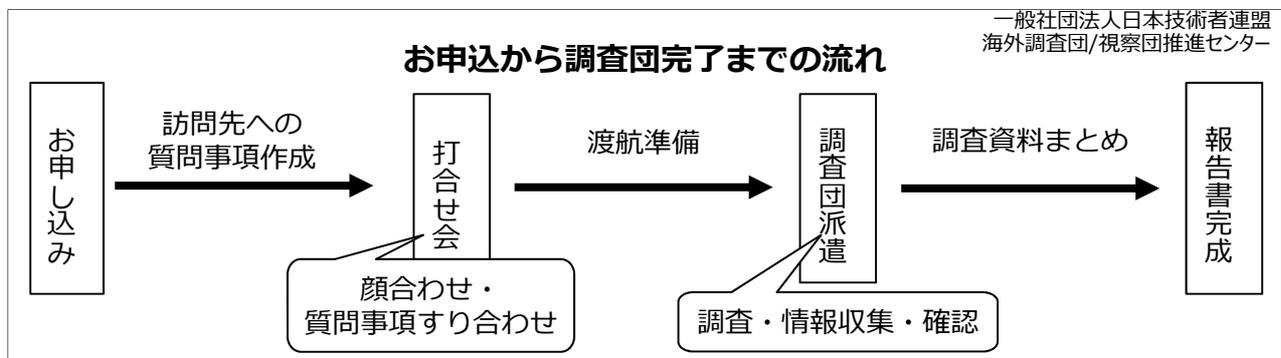
1. 参加申込書（本案内最終ページ。エクセルデータで提出されたい方はお申し出ください）
2. 参加者の名刺（和文・英文共）
3. パスポートの顔写真部分のページのカラーコピー
（まだパスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください。
パスポートは帰国日より90日以上残存有効期間のあるもの）
4. メンバーリスト作成用顔写真のデータ（顔がはっきりとわかるもの。パスポート取得時の写真でも可。）

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが事務局までお問い合わせ下さい。

【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。

また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。



一般社団法人日本技術者連盟



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <http://www.wkx21c.org>

『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』 参加要項

1. **テーマ：** 『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』
2. **期間：** 2025年9月14日（日）～ 2025年9月21日（日）のうち 8日間（予定）
3. **主催：** 一般社団法人 日本技術者連盟（J E F）
4. **団長：** 高木 直行 氏 東京都市大学 大学院 共同原子力専攻／
工学部 原子力安全工学科 教授 博士（工学）



■ 略歴 ■

1992年 東京電力入社 柏崎刈羽原子力発電所 発電課 原子力研究所 新型炉研究室
1999年 日本原子力発電 高速炉開発部 安全・炉心G（出向）
1999年 核燃料サイクル開発機構（大洗）炉心燃料Gr（出向）
2004年 東京工業大学 原子炉工学研究所 特任准教授（兼務）
2004年 核物質管理センター 開発部（出向）
2006年 東京電力 本店 原子力技術品質安全部 将来構想Gr
2007年 原子力設備管理部 原子炉安全技術Gr
2008年 東海大学 工学部 エネルギー工学科 准教授
2010年 工学部 原子力工学科 教授
2012年 東京都市大学 工学部 原子力安全工学科 教授 現在に至る

5. 調査項目：

- 欧州におけるSMRの設計・建設計画やサプライチェーンの状況
- 安全性向上や立地・運転・利用に関する社会ニーズに応じた取り組み状況
- 規制に対する国際的標準化の状況
- その他

6. 予定訪問先概要：

※訪問先は都合により変更になる場合もございますので、予めご了承下さい。

1) ČEZ Group (チェズ・グループ)

チェコ最大の電力・原子力事業者としてSMR導入の意思決定プロセスの中心。原子炉の運転・保守管理・サプライチェーン管理に加え、将来的なSMR導入における政策的・経済的視点が得られる。

テメリン発電所：VVER型原子炉2基。稼働中の商業炉を有する施設で、大型炉とSMRの役割分担や補完性について議論可能。

2) ÚJV Řež (レジュ核研究所)

●設立：1955年、旧チェコスロバキア時代からの核技術拠点

専門分野：炉心設計、SMRの設計評価、燃料挙動試験、放射性廃棄物処理研究など究の中核的存在。

既にNuward（仏）、Carem（アルゼンチン）などとの技術比較・評価研究に着手。放射線防護、材料劣化試験、安全性シナリオ評価など、日本の研究者との共同テーマ設定に有効。

③ EDF本社（パリ）もしくはEDF Lab（Paris-Saclay） – SMR「Nuward」の開発説明

環境×原子力を支援する若手主体のシンクタンク

④ そのほか

7.ICAPP 2025:

International Congress on Advances in Nuclear Power Plants

2025年9月17日（水）～19日（木） Antibes, France

次世代炉や高速炉に関する国際会議です。米国・日本・韓国・フランスの原子力学会（ANS、AESJ、KNS、SFEN）が共同で主催しておりまして、2002年に第1回が開催されて以来毎年開催されています。前回2024年は米国、2023年は韓国、2021年はアラブ首長国連邦、2020年は米国の予定でしたがコロナで中止、2019年はフランス、2018年は米国、2017年は日本でした。今年の開催地はフランスです。

詳細はURLをご参照下さい。 <https://www.sfen.org/evenement/icapp-2025/>

8. 募集人員：10名
9. 参加費：¥ **1,900,000**—（予定・税別、お申込金50万円を含む）
10. ホテル：一人部屋
11. 通訳・プロジェクトマネージャー：現地同行（参加5名以上の場合）
12. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1950
13. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者
14. 申込方法：参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
名刺のコピー（和文・英文共）、参加申込書、顔写真データを
2025年7月31日（木）までに、
E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) でお送り下さい。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが、日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※打合せ会の日程につきましては、改めてご案内申し上げます。

15. 代金支払：総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂1302号
TEL : 03-6229-1946 FAX : 03-6229-1940
E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp
URL : <http://www.jef-site.or.jp>
URL : <http://www.wkx21c.org>



『欧州におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』
日程表 案

2025年9月14日（日）～ 9月21日（日）

日次	月・日・曜日	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	9/14 （日）	羽田発 ドバイ着 ドバイ発 ブラハ着	EK 313 EK 139	00:05 05:45 08:35 13:00	羽田国際空港 発 ドバイ経由 ブラハ着	機内食 夜 ○
2	9/15 （月）				ČEZ Group訪問 UJV Řež訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	9/16 （火）	ブラハ発 フランクフルト着 フランクフルト発 ニース着	LH1401 LH1068	18:40 19:50 21:30 23:00	Dukovany NPP訪問 ブラハ発 フランクフルト経由 ニース着	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	9/17 （水）				ICAPP 2025: International Congress on Advances in Nuclear Power Plants 開催地：Antibes Juan-les-Pins （南仏・ニース空港近郊） 期間：9月17日（火）～19日（木） 期間中にEDF訪問（調整可能）	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	9/18 （木）					朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	9/19 （金）	ニース発 パリ着	列車			移動 朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	9/20 （土）	パリ発	EK 76	21:55	パリ/シャルルドゴール空港発	朝 ○ 昼 ○
8	9/21 （日）	ドバイ着 ドバイ発 羽田国際空港着	EK 312	06:35 07:45 22:25	ドバイ経由 羽田国際空港 到着	機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

※EK: エミレーツ航空、LH: ルフトハンザドイツ航空

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：お申込金 50万円、及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料 10万円
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2025年2月末日時点の運賃及び5名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆 齋藤 信男 松井 一秋	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 内藤 香 林道 寛	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人滋慶学園 総長 Ph.D. 元 公益財団法人核物質管理センター理事長 元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

お申込日 2025年 月 日

『米国におけるSMRとサプライチェーン強靱化調査団』

参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）行

フリガナ						
会社名・団体名						
所属名/役職名						
フリガナ						
参加者氏名	生年月日	西暦	年	月	日	
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)	英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)					
E-mail	携帯電話番号					
勤務先	ご住所	〒 -				
	電話番号	FAX番号				
ご自宅	ご住所	〒 -				
	電話番号					
フリガナ						
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方	印					
所属名/役職名						
電話番号/E-mail						
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）						
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦	年	月	日
② いいえ	取得予定日	年	月	日		
中国入国に必要な ビザについて	商用ビザを持っている ・ それ以外のビザを持っている（ビザの種類）					
	持っていない（ご自身で取得する ・ 取得を本連盟に依頼する（別途費用が発生））					
強いアレルギーなど ございますか	なし ・ あり（ ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください）					
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）					

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア.ご本人の同意がある場合

イ.旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。

ウ.法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟